

開通4ヶ月後

国道121号 会津縦貫北道路

会津縦貫北道路が開通して

(平成23年11月6日 喜多方IC～塩川IC間 開通)

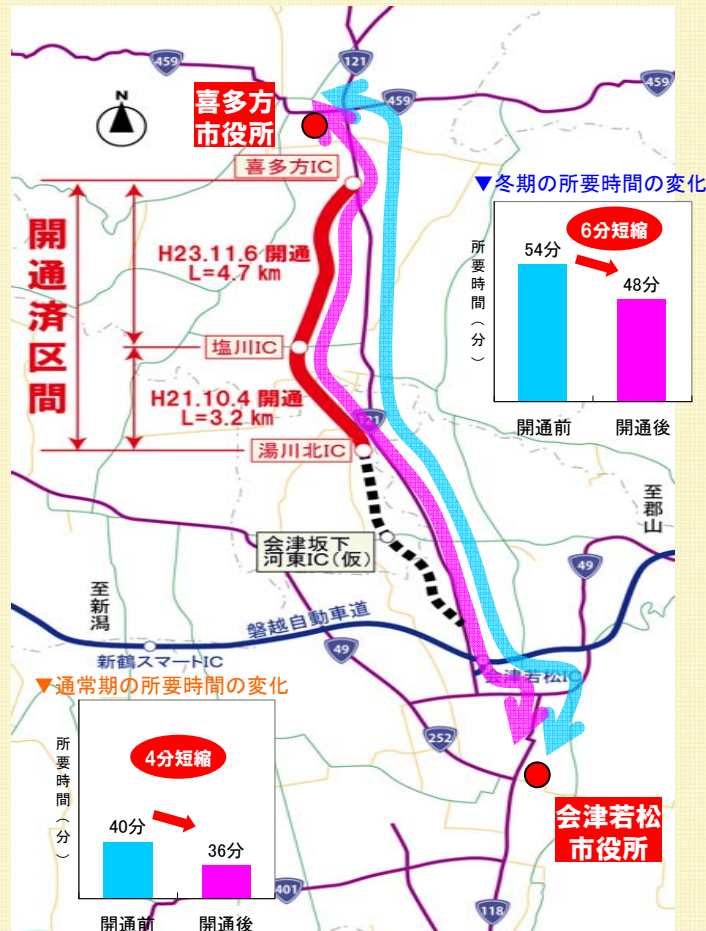
- ① 冬期所要時間が6分短縮
- ② 利用交通量が1,200台増加
- ③ 「生活が便利になった」と実感



会津縦貫北道路（開通済区間）



○喜多方市と会津若松市間の冬期間の所要時間が6分短縮しました。
(開通前:54分⇒開通後:48分)



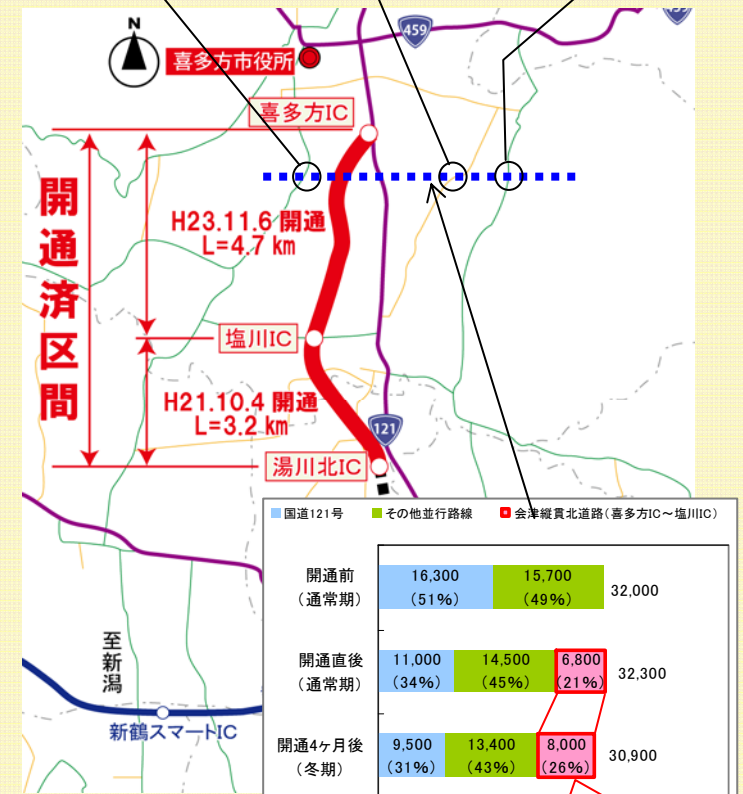
(調査日)
開通前(通常期)H22.4～11月(平日平均)
(冬期)H22.12～H23.3.10(平日平均)
開通後(通常期)H23.11.8(火) (冬期)H24.2.29(水)

○会津縦貫北道路(喜多方IC～塩川IC)の交通量が開通直後に比べて1,200台/日増加しました。
(開通直後:約6,800台/日⇒開通4ヶ月後:約8,000台/日)

(主)喜多方会津坂下線
開通前:8,800台/日
開通後:8,100台/日
開通4ヶ月後:7,500台/日

(県)熊倉塩川線
開通前:3,000台/日
開通後:2,900台/日
開通4ヶ月後:2,800台/日

(主)北山会津若松線
開通前:3,900台/日
開通後:3,500台/日
開通4ヶ月後:3,100台/日



会津縦貫道の利用交通量が1,200台/日増加

| 時期 | 国道121号 | その他並行路線 | 会津縦貫北道路(喜多方IC～塩川IC) | 合計 |
|------------|--------------|--------------|---------------------|--------|
| 開通前(通常期) | 16,300 (51%) | 15,700 (49%) | 0 | 32,000 |
| 開通直後(通常期) | 11,000 (34%) | 14,500 (45%) | 6,800 (21%) | 32,300 |
| 開通4ヶ月後(冬期) | 9,500 (31%) | 13,400 (43%) | 8,000 (26%) | 30,900 |

日交通量(台/日)

救急 救急搬送時に会津縦貫北道路を利用！

- 会津縦貫北道路の開通により、喜多方市から会津若松市方面への救急搬送ルートは、会津縦貫北道路を利用するようになった。
- 会津縦貫北道路は信号がなく一定速度で搬送できるので、患者さんへの負担が軽減し、より安全な搬送が可能になった。



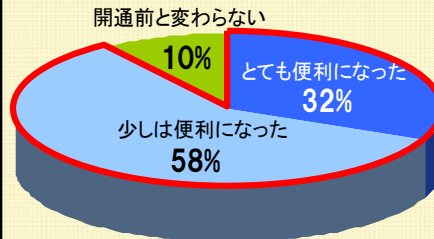
喜多方地方広域市町村圏消防本部ヒアリング結果

喜多方IC~湯川北IC開通後は、会津若松方面への救急搬送時に会津縦貫北道路を利用するようになった(塩川IC~湯川北IC開通時は利用せず国道121号を利用していた)。喜多方市内から会津若松市の病院までの救急搬送時間が短縮した。(喜多方地方広域市町村圏消防本部)

生活 住民の9割の方が生活が便利になったと実感！

- 会津縦貫北道路の開通後は、会津若松市~喜多方市間の移動時間が短くなった事、走行時の安全性が向上した事により、地域住民の9割の方が生活が便利になったことを実感しています。

■会津縦貫北道路の開通で生活は便利になりましたか？



回答数：130

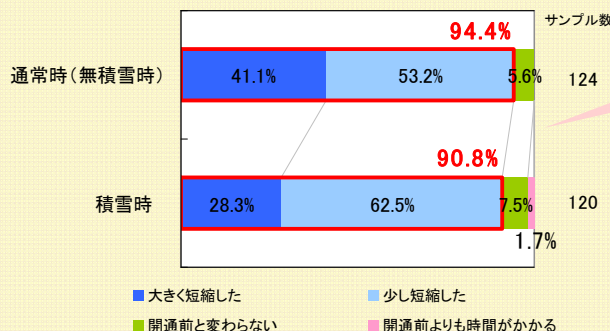
会津縦貫北道路の開通により9割の方が生活が便利になったことを実感！

【便利になったと思う理由】

- ・(喜多方から)会津若松への通勤・買物が楽になった
- ・信号がなく歩行者がいないので安全に運転できる等

※会津若松市~喜多方市間を結ぶ国道121号または会津縦貫北道路を利用している方を対象に集計

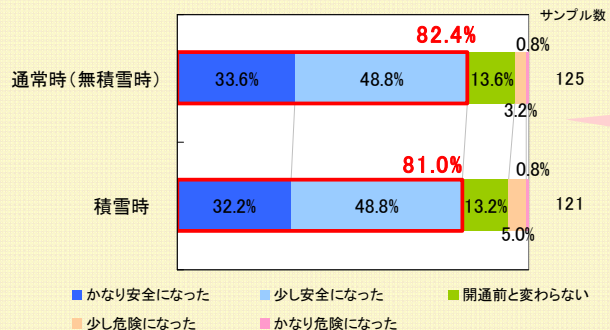
■会津縦貫北道路の開通で会津若松市⇄喜多方市の移動時間は短縮されましたか？



通常期、積雪時とも9割以上の方が、移動時間が短縮されたことを実感！

※会津若松市~喜多方市間を結ぶ国道121号または会津縦貫北道路を利用している方を対象に集計

■会津縦貫北道路の開通で会津若松市⇄喜多方市の移動をする際の安全性※は向上したと思いますか？



※安全性：車を運転する時に交差点で事故遭遇する危険を感じたり、スリップ等でヒヤリと感じることなく走行できる環境にあること

通常期、積雪時とも8割以上の方が、安全性が向上したことを実感！

※会津若松市~喜多方市間を結ぶ国道121号または会津縦貫北道路を利用している方を対象に集計